

両側に頸動脈内膜摘出術を施行した症例の検討

2005 年 1 月 1 日から 2024 年 1 月 31 日までに日本医科大学多摩永山病院脳神経外科で頸動脈内膜摘出術を施行した患者さん

研究協力をお願い

日本医科大学多摩永山病院脳神経外科では「両側に頸動脈内膜摘出術を施行した症例の検討」という研究を行います。この研究は、2005 年 1 月 1 日から 2024 年 1 月 31 日までに当科にて、頸動脈狭窄症のために頸動脈内膜摘出術治療を受けられた患者さんの記録を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただき、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

研究課題名：両側に頸動脈内膜摘出術を施行した症例の検討
研究予定期間：研究機関の長の実施許可日から 2024 年 9 月 30 日
調査対象期間：2005 年 1 月 1 日から 2024 年 1 月 31 日
研究責任者：日本医科大学多摩永山病院 脳神経外科 玉置 智規

(2) 研究の意義、目的について

当科は頸動脈内膜摘出術の症例数は本邦でも有数ですが、両側性に頸動脈内膜摘出術を施行された症例は少なく、当科での経験を纏めて全世界の医師に報告することは大変意義があることと考えております。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2005 年 1 月 1 日から 2024 年 1 月 31 日までに日本医科大学多摩永山病院脳神経外科で CEA を施行した 423 例の CEA を片側のみ施行群と両側施行群の二群に分け手術の成績や合併症等について検討を行います。
この研究は、患者さんの以下の情報を用いて行われます。
試料：なし
情報：年齢、性別、喫煙歴、脳梗塞の有無、既往歴、血液検査所見、画像検査所見（主に造影 CT から術前の頸動脈狭窄率を計算する）、術前術後喉頭鏡所見、術前術後の投薬内容の比較、術前術後嚥下造影検査。

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

担当者：脳神経外科 玉置智規
日本医科大学多摩永山病院 倫理委員会事務局
〒206-8512 東京都多摩市永山 1 丁目 7-1
電話番号：042-371-2111（代表） 内線：2302
メールアドレス：nagayama-chiken_center@nms.ac.jp